

支援事例

商工会名	南阿蘇村 商工会	氏名	平岡 郁弥	情報開示の可否	可
支援テーマ	持続化補助金	題名	販路開拓のため ゼロから始めるSNS情報発信		

<支援企業の概要>

事業所名	南阿蘇村ゲストハウス 野わけ	従業員	0 人	創業/ 会社設立	創業日	2009年7月1日
業種	宿泊業	うち家族従業員	人		業歴	15年8ヶ月

○企業概要

南阿蘇村ゲストハウス野わけは、簡易宿泊所(ゲストハウス)であり、全室個室のみ(1部屋を家族やグループでの利用も可)となっている。建物は古民家の風情と懐かしさがあり、癒しと落ち着きを感じることができ、性別年代問わず、海外の観光客にも人気がある。

B&B(Bed and Breakfast)スタイルの宿泊プランだけで、自家農園で栽培した種類豊富なサラダと、南阿蘇村のパン屋から取り寄せたパンを焼きたてで提供し、阿蘇山が眺望できるウッドデッキで提供するため、宿泊客からは好評を得ている。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

第13回小規模事業者持続化補助金の補助事業中に支援開始。情報発信を補助事業計画に策定しており、ホームページの作成を親族に委託していたが補助事業期間内に完了する見込みがなく、別の手段で発信するよう計画変更を行う。

また、補助事業で購入した衣類乾燥機は、周辺にある同宿泊形態では珍しく、差別化になるため積極的に発信し観光客等に周知してもらう必要がある。

しかし事業者が高齢ということもあり、SNSに関してはまだ理解が浅い。前年に当会が主催したSNS講習会に参加したが、自力で運用していくにはまだ不安がある状態。

今後、告知および口コミを拡散し宿泊客層を拡大していくためにもSNSを活用した情報発信は必要である。

○支援内容および支援後の状況・効果

①補助事業計画内にある情報発信(SNS)の支援を行った。アカウント作成から簡易的な投稿までの流れを説明。野わけのInstagramアカウントを作成し、自家農園の様子や衣類乾燥機について、また南阿蘇村の風景を定期的に投稿している。

②補助事業終了後の実績報告の作成支援も行った。補助事業の確認から報告書の提出までの一連の流れのフォローアップ支援を実行。(成果)

アカウント作成後、数名からフォローされ投稿にもいいねがつき始めた。

補助事業の実績報告書は問題なく作成され、期限内に提出ができた。

○今後について（目標や課題など）

今後は、Instagramの投稿頻度、内容の向上とその他SNSを活用していくなどSNSの運用を本格化していけるよう支援していく。

また拡散力のある若者の宿泊客を増やすためにも、若者向けのプランやイベントを提案するといった補助事業終了後のアフターフォローにも力を入れる。